

YRS
ユアーズ

横浜ラポール
Higashi-ku
Yokohama
Support

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第214号

トピックス

新年度を迎えて



令和7年度にあたって

令和6年度中も、当施設の事業にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。
以下、令和6年度の実施状況についてご報告します。

◆**通訳派遣・研修事業**: 派遣・紹介人数は、手話通訳11,045人(令和5年度:11,630人)、要約筆記1,416人(令和5年度:1,395人)、総合計12,461人(令和5年度:13,025人)となり、手話は前年比95%、要約は102%となりました。コロナ禍の令和元年・2年度以外で、手話通訳の利用数が前年を割ることは初めてで、通訳利用者の生活状況の変化(施設入所等)も、要因の1つと考えています。

区役所の窓口に配置されている遠隔通訳の利用数は、計80件(令和5年度:137件)でした。

◆**通訳体制について**: 非常勤手話通訳者は令和5年度と同数の76人でした。昨年度同様に、経験の長い手話通訳者が複数人さまざまな理由でご退職されています。ニーズに対応できる通訳者体制の維持は継続的な課題です。

◆**養成事業等への協力**: 令和6年度から横浜市要約筆記者登録試験とそれに付随する事業(試験対策講座)の主管となり、いずれの事業も横浜市中途失聴・難聴者協会(以下:浜難聴)をはじめとした関係団体のご協力を得て無事終了することができました。試験対策講座は手書き・パソコンそれぞれ計4回実施(延べ23人受講)し、登録試験合格者は8人(手書き6人、パソコン2人)でした。他、浜難聴が実施する要約筆記養成事業と、(一社)横浜市聴覚障害者協会(以下:横聴協)が実施する手話奉仕員及び手話通訳者養成事業に協力しました。令和6年度横浜市手話通訳者登録試験の合格者は10人でした。

◆**聴覚障害者相談事業**: 令和6年度も、出張(訪問、同席、同行など)による相談に積極的に取り組みました。「聞こえの相談」については、延べ57件(令和5年度:76件)の相談に対応しました。外部の委員から事業に関するご意見を伺う運営委員会を1回、参加者から好評を得ている「聞こえの相談交流サロン」を2回開催しました。遠隔対応を含めた総相談対応件数は、1,247件(令和5年度1,423件)となりました。

◆**普及・啓発事業**: 出前講座については、介護保険事業所や民生委員・児童委員連絡会、老人クラブ連合会等に向けて周知をおこない、13件対応しました。

聴覚障害者向け学習会として、スポーツ事業課との共催「聴覚障害者対象健康学習会」は、参加者の利便性を考え、今年もラポール上大岡と横浜ラポールの2か所で開催しました。初の試みとして「聞こえない聞こえにくい社会人のための講座」と題し、就労や職場での人間関係などに悩みを抱える方対象に講座を開催しました。若年層の手話学習者の増加を目的とした取り組みについては、2つの大学訪問を実施しました。公式LINEアカウント「らぽらいん」は、毎週火曜に動画を含む各種情報を定期発信している他、緊急のお知らせも随時発信しています。登録が未だの方は是非ご登録ください。

年度途中に、中途採用の職員が仲間入りし、新しい風を吹き込んでくれています。そしていよいよ今年11月には東京2025デフリンピックが開催され、ラポールとしても、精一杯の応援をしていく予定です。今年度も、関係団体の皆さまと力を合わせ、各種事業に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

事業報告

令和7年度横浜市手話通訳者・要約筆記者事業連絡会

4月20日(日)の午後、標記連絡会を開催しました。出席者は177人(オンライン)でした。この連絡会は手話通訳者・要約筆記者と情提職員が、新年度の組織(通訳者・情提職員)体制、派遣事業に関する状況、研修計画、通訳業務に関する留意点を確認する場として、年度当初に実施しています。

横聴協の小島天理事長、浜難聴の須山優江会長のご挨拶をいただき、令和7年度の体制、状況報告を行いました。通訳業務に関する説明では、基本的な事項と特に留意してほしい点(変更・追加箇所)、また報告書の書き方の留意点等について話し、研修事業では1年間の研修計画について説明を行いました。

新年度の通訳者体制は、手話通訳者166人(非常勤80人、登録86人)、登録要約筆記者81人です。今年度も引き続き、事業の円滑な運営に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

手話通訳者・要約筆記者合同研修会「健康講座」

2月8日(土)、横浜市手話通訳者・要約筆記者合同研修会をオンラインで実施しました。手話通訳士・ピラティスインストラクターである杉浦智子氏を講師に、90人の参加がありました。「セルフメンテナンスを意識する」をテーマに講義だけでなく実際にハンドタオルを使った筋トレとストレッチを行いました。

受講者より「先生のお話を聞いた時に心がふっと軽くなったような気持ちになった。明日からの生活に良い影響を与えてくれると実感した」など、感想をいただきました。健康に留意しながら引き続き通訳活動をお願いしたいと思っています。



聞こえの相談交流サロン

3月4日(火)、難聴者・聞こえにくい方・その家族を対象とした「聞こえの相談交流サロン」を実施し、16人に参加いただきました。



第一部は、横浜国立大学名誉教授の中川辰雄先生より「加齢・難聴・補聴器」についてお話いただき、第二部は、浜難聴にご協力いただき、テーマごとに2グループに分かれて参加者同士での交流会を行いました。テーマは「補聴器や人工内耳について」と「コミュニケーションの悩み～こんなときどうする?～」です。

以下、参加者の感想をご紹介します。「専門的な内容も丁寧な説明だったので分かりやすかった」「同じような悩みを持っていることを知れてよかった」「家族として参加できる場がありがたかった」

今年度も当事者同士が情報交換や交流できる場として、「聞こえの相談交流サロン」を実施していきたいと思っております。

参加報告

関東ろうあ者相談員連絡会

第3回連絡会が1月27日(月)、東京都障害者福祉会館にて開催され、15人の参加があり当施設から2人が参加しました。(一社)日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会会長の舘脇千春氏より、「令和6年能登半島地震被害におけるメンタルケア及びアウトリーチ派遣について～聞こえない、聞こえにくい人たちの災害支援を考える～」のテーマで、震災支援から見えた聴覚障害者の声、今後の課題などをご講義いただきました。

第4回連絡会は2月14日(金)、横浜ラポールにて開催され、14人の参加があり当施設から2人が参加しました。倉知延章氏(九州産業大学名誉教授)より、「ろうあ者相談員の成長を促すピアグループスーパービジョン」というテーマでご講義いただきました。相談援助技術の知識と技術を持つもの同士、支え合い、学び合い、教え合いながら相互に成長するための方法として学びを深めました。

二つの講演で学んだことを、今後の相談事業に生かしていきたいと思っております。



全国聴覚障害者情報提供施設協議会第3ブロック研修会

3月6日(木)、千葉県聴覚障害者センターにて標記研修会が開催され、関東ブロックに属する11施設から参加があり、当施設からは施設長及び派遣担当職員2人が参加しました。午前には管理職と意思疎通支援事業担当職員グループに分かれ情報交換を行いました。派遣担当職員のグループでは、当事者団体における関東レベル以上の大会は、主催者側で情報保障費の予算化がしにくい状況を受け、窓口間での共通認識を持つための討議をおこないました。また、派遣事務に関するシステムの導入状況の共有や、派遣に関する業務での悩みなどが出されました。

午後は、鳥取県きこえない・きこえにくい子どものサポートセンターきき所長の石橋大吾氏(財団法人全日本ろうあ連盟理事長)による「一人ひとりのきこえない・きこえにくい子どもたちが輝いて～鳥取県きこえない・きこえにくい子どものサポートセンター『きき』の取り組みより～」と題した講演がありました。きこえない・きこえにくい子どもの早期発達支援のためのサポートセンター『きき』の役割や取り組み内容などを説明いただき、ご家族や当事者からの相談や手話言語学習会のニーズの高さを知ることができました。引き続き連携を図りながら業務をおこなっていきます。

災害関連行事

①「新横浜駅周辺混乱防止対策訓練」参加

3月6日(木)、新横浜駅周辺にて「新横浜駅周辺混乱防止対策訓練」が開催されました。鉄道事業者、一時滞在施設関係者、駅周辺事業者、消防団、警察など多くの関係者が参加しました。帰宅困難者として当施設職員2人のほか、自治会・町内会会員や横浜市身体障害者団体連合会の当事者が参加し、駅構内で地震が発生したことを想定し、初動訓練、避難誘導、現地調整本部の設置、情報ステーション設置など訓練内容は幅広いものでした。



参加した聴覚障害者の中には音声認識アプリを使用している方がいましたが、駅ホームのアナウンス音に遮られてしまい音声認識アプリがうまく動作していない場面がありました。また、鉄道運行や避難施設の情報はQRコードを読み取る方法でしたが、高齢の方には操作が難しいのでは、といった意見もありました。

②「はまデフ防災フォーラム」参加

3月8日(土)、(一社)横浜市聴覚障害者協会主催の「防災フォーラム」が開催され、当施設職員が参加しました。

第1部の講演では、武田知晃医師(横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター)から、DMAT(災害派遣医療チーム)の活動について、昨年の能登半島地震での実体験と横浜市内での取り組みを基に説明がありました。DMATは、災害発生から48時間以内に迅速に対応できるよう訓練された医療チームであり、昨年の能登半島での活動の流れを時系列に沿って説明がありました。また、横浜市内での取り組みを行う中で、今後、災害に備えて当事者団体とも連携をとる必要性を感じたとの話がありました。

第2部では、松下靖紀氏(はまデフ横浜市域防災対策部長)が災害時の対応策について講演、参加者はグループワークを通じて「地震や大雨などの災害時の行動」や「物資が届かない場合の対策」について意見を交換しました。

この防災フォーラムを通じて、SNSなどの情報をうのみにしないこと、日頃から、地域との交流や隣人とのコミュニケーションを深めることの重要性を再確認しました。



「横浜市消防局消防司令センター」見学

3月7日(金)・10日(月)、横浜市消防局消防司令センターの見学に行きました。聴覚障害者からFAX119、Net119、電話リレーサービスで通報を受けた際の指令センターの対応の流れについて説明いただきました。緊迫感もありながら、電話以外の通報にも素早く対応できる工夫がされており、聴覚障害者が安心して119番通報ができることを知りました。119番通報の問い合わせや、救急搬送時に手話通訳派遣の依頼があった時の対応など、当施設事業を行う上でも大変参考になりました。

～ 職員の異動がありました ～

【退職者】12月31日付	三澤 真知子(みさわ まちこ)	:(非常勤職員 派遣担当)
3月31日付	平井 正子(ひらい まさこ)	:(非常勤職員 派遣担当)



(令和6年度)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	R5年度	相談事業	実件数	延べ件数
医療・保健	5,405	144	5,549	5,715	医療	88	226
司法	23	4	27	32	職業	49	144
教育・保育	698	19	717	864	教育	0	0
労働・雇用	473	11	484	585	住宅	21	43
社会生活	1,021	126	1,147	1,177	生活	274	498
自己啓発	184	28	212	327	福祉	129	240
福祉推進	1,228	1,056	2,284	2,146	法律	17	39
介護保険	1,959	25	1,984	2,084	聞こえ	56	57
他都市	54	3	57	95	合計	634	1,247
合計	11,045	1,416	12,461	13,025	R5年度	726	1,423
R5年度	11,660	1,365	13,025				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作 ()はR5年度

手話研修	回数	26(28)	参加人数	749(823)	自主制作作品数	58(65)
筆記研修	回数	27(28)	参加人数	583(557)		

■遠隔手話通訳事業

■普及・啓発事業

区	件数	区	件数	区	件数	派遣先	派遣件数	参加人数
鶴見	3	西	1	栄	14	企業等	5	214
神奈川	2	南	0	旭	9	教育関係	3	65
港北	0	港南	5	戸塚	8	介護関係団体	13	289
緑	1	金沢	1	瀬谷	6	聴覚障害者団体	5	264
都筑	5	磯子	2	泉	2	その他	9	226
青葉	1	中	5	保土ヶ谷	10	合計	35	1,058
				市庁舎	5	(R5年度)	(28)	(1,132)
				件数合計	80			
					(137)			

■視聴覚機器の貸出

物品名	保有数	貸出件数	物品名	保有数	貸出件数
スクリーン	6	61	OHC	5	110
ヒアリンググループ	2	1	ブルーレイディスクレコーダー	1	29
液晶プロジェクター	7	118	PC文字通訳用機器	6	290
テープレコーダー	1	29	PC文字通訳用機器個人用	2	14
ビデオカメラ	1	23	合計(R5年度)		675
					(646)



3月

- 3 横浜市立ろう特別支援学校高等部 卒業証書授与式出席
- 4 聞こえのサロン
- 6 横浜市立ろう特別支援学校運営協議会出席
- 6 新横浜駅周辺混乱防止対策訓練参加
- 6 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 関東ブロック研修会参加
- 7 消防指令センター見学
- 8 防災フォーラム参加(横聴協)

- 10 消防指令センター見学
- 11 視聴覚機器点検
- 13 聴覚障害者災害対策救援 横浜市域本部会議出席
- 18-19 全国聴覚障害者情報提供施設協議会 理事会(京都)
- 19 出前講座(東山田民児協)
- 24 衛生委員会
- 26 主管課定例会議

4月

- 1-4 新採用研修(リハセンター)
- 7 横浜市立ろう特別支援学校入学式出席

- 8 職員全体研修
- 8 視聴覚機器点検
- 17 要約筆記PC養成開講式
- 20 登録新人オリエンテーション
- 20 手話・要約筆記事業連絡会
- 22 要約筆記1年次研手書・PC
- 22 三窓口会議(県センター)
- 23 主管課定例会議
- 23 聴覚障害者災害対策救援 横浜市域本部会議出席
- 24 要約筆記養成PC
- 24 出前講座(茅ヶ崎南MGC R S地区 社会福祉協議会)
- 25 要約筆記フォローアップ講座手書・PC
- 30 出前講座(港北手話サークル梅の会)

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより「横浜ウェブ」

発行日:令和7年4月30日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>